

令和 8 年度事業提案一覧表

【提案事業】 企画財政部

番号	事業名	所属名	種別	事業開始年度	事業概要
1	門真市公民連携デスク運営事業	企画課	3 ローリング	R 4	共創推進のためのワンストップ窓口である「門真市公民連携デスク」において、民間事業者からの相談や提案を受け、連携可能な事業や取組を確認し、事業所管課との調整を行う。 また、事業所管課から抽出した公民連携によって解決したい課題を取りまとめ、民間事業者に対し、課題解決に向けた提案を募集する等、民間事業者とのマッチングをしていく。
2	門真市ふるさと大使推進事業	企画課	3 ローリング	R 6	本市の出身者又は市にゆかりのある者で、本事業の趣旨に沿って活躍が期待できるものを門真ふるさと大使として委嘱し、市の魅力を広く市内外に発信し、市の知名度及びイメージの向上並びに文化、産業、教育等の振興を図るため、市が主催する各種事業や行事への協力等を実施する。
3	E B P M推進事業	企画課	3 ローリング	R 7	データ分析を進める中で、20～30代の転出抑制には「子育て環境」の充実に加え、若者の出会いの場の創出や未婚率の高さ等、既存施策では十分に対応できていない課題も浮き彫りとなった。 8年度は国勢調査の最新データの反映や若者向けの意識調査を実施し、若者の価値観やニーズを把握・分析し、客観的なデータと主観的なデータ（若者の実態）を駆使した、実効性の高い少子化対策施策を立案する。
4	若者つながり創出事業	企画課	1 新規	R 8	市内在住の若者及び市外からの流入候補層に対し、出会いの創出、交流の活性化を実施するとともに、結婚やキャリア形成等に関するライフデザインの意識醸成を図る。 具体的には、若者のニーズ把握や、参加しやすい交流機会を創出するとともに、参加者のコミュニティ形成や、テーマ型イベント及び婚活イベントを実施する。
5	スマートシティ推進事業	企画課	3 ローリング	R 6	地域課題の一つである市民の健康課題の解決に向け、民間企業等と連携し、個人の健康に関する医療情報・データを記録し、クラウド等を通じてスマートフォンアプリ等で一元的に管理するPHR（パーソナルヘルスレコード）の地域実装により、市民一人ひとりが健康・医療・介護等の情報を自ら管理することで、日常生活の改善等のセルフケアを実現し、健康寿命の延伸を目指す取組を推進する。
6	若者・女性が活躍できる地域の働き方等推進事業	企画課	3 ローリング	R 7	若年女性の転出超過や出生数減少という課題背景を踏まえ、専門家の支援のもと、若者・女性が活躍できる職場創出に取り組んでいくとともに、庁内向け・庁外向け（企業経営者層を想定）に研修等を実施し、市内企業及び市職員の意識変容と仕組みづくりの定着を図る。
7	シティプロモーション推進事業	魅力発信課	3 ローリング	R 7	消滅可能性都市からの脱出を図ることを目指し、主にメインターゲットとする20代～30代の女性に対して本市が「認知」されるよう発信し、「興味・関心」をもってもらえる取組みを行い、そこから「行動」へとつなげ、将来の「移住・定住」へと結びつけるため、合同会社DMM. comに委託し、インターネット広告やSNS発信等を用いた効果的な情報発信を行う。

番号	事業名	所属名	種別	事業開始年度	事業概要
8	シティープロモーション推進事業 (SNS運用パートナー)	魅力発信課	3 ローリング	R 5	市公式インスタグラムにおいて、市内外の若い世代や子育て世帯の関心を惹く投稿を継続するために、インスタグラムの運用に知見を有する外部人材にSNS運用パートナー業務を委託し、投稿をともに行う。 インスタグラムをはじめとする各種SNSの運用にあたっては門真市役所への勤務を要さずオンラインで業務を行い、優秀な外部人材を確保するために業務委託の形態とする。
9	公式LINEアカウント 情報配信サービス事業	ICT推進課 ／魅力発信課	3 ローリング	R 5	公式LINEアカウントを通じ、行政情報、イベント、災害に関する情報等、様々な情報を効果的かつ効率的に市民に届ける。 また、双方のコミュニケーションが可能となるよう、本人確認を伴うオンライン申請、チャットボット、予約、通報等の公式LINEアカウントの拡張機能（情報配信システム）を導入する。
10	スマート窓口推進事業	ICT推進課	3 ローリング	R 6	オンライン申請環境の充実をはじめ、引っ越し等のライフイベントで必要な手続きを案内できる「手続きナビゲーションサイト」の開設やマイナンバーカード等を活用した「申請書作成支援端末」の設置により、市民の利便性向上と行政の業務効率化を図る。
11	生成AI利活用事業	ICT推進課	1 新規	R 8	職員の業務負担の軽減を図るため、文章の要約、多言語翻訳、リスク等のシミュレーション、情報検索等を行う際に職員をサポートする対話型文章生成AIを導入する。